

第31期 年次報告書

2018年9月1日 ▶ 2019年8月31日



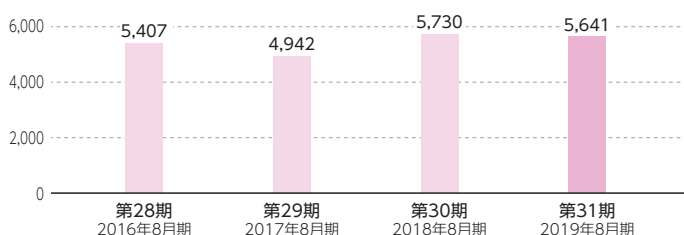
財務ハイライト

Financial Highlights

2019年8月期

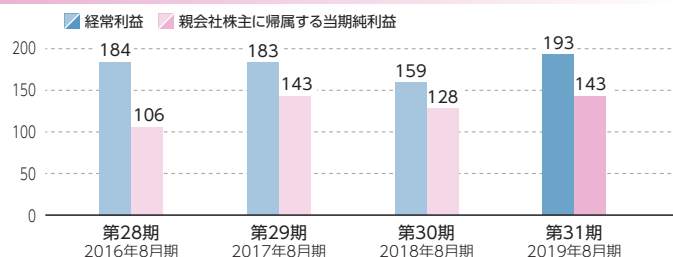
売上高

(単位:百万円)



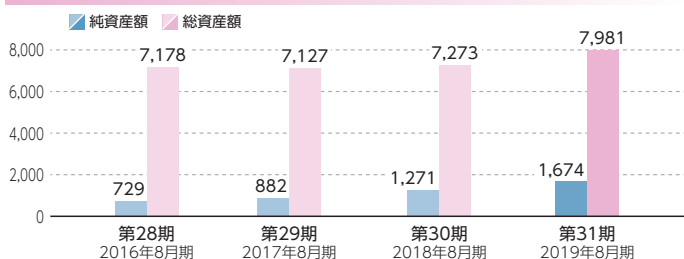
経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



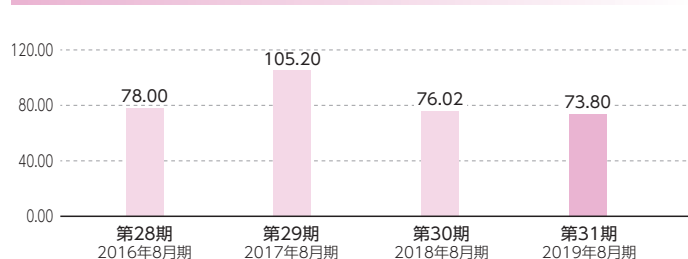
純資産額及び総資産額

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



(注) 当社は、2017年9月29日付で普通株式1株につき400株の株式分割を行っておりますが、第28期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2020年8月期の通期見通し

売上高

62億98百万円

前期比

11.6% 増

営業利益

2億46百万円

前期比

18.5% 増

経常利益

2億42百万円

前期比

25.2% 増

親会社株主に帰属する 当期純利益

1億48百万円

前期比

3.7% 増

社会インフラを支える 水と空気のプロフェッショナル集団 技術を見つけ、育て、活かす



代表取締役会長 来山 哲二

株主の皆様には、平素より当社事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第31期（2018年9月1日から2019年8月31日まで）年次報告書をお届けするにあたり、株主の皆様にご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における事業環境は、輸出減速などの影響を受け、製造業においては設備投資意欲の低下が続く景気の後退局面入りとともに、景気減速の懸念が高まっている状況であります。

このような状況のもと、当社は環境・エネルギー事業において、地域密着型の営業展開により水処理機器の卸営業展開を進めるとともに、北海道や北陸地区での営業体制強化に取組み新規開拓を進めてまいりました。また、メンテナンス需要が増加傾向であることに伴って、技術サービススタッフの育成に注力し、技術力の底上げを図ってきたことで受注が安定し業績は堅調に推移しましたが、水処理機器等の工事案件で持ち越しが増加し

たことなどにより苦戦を強いられました。

動力・重機等事業においては、造船市況の改善傾向を背景に、船舶エンジン関連機器や部品の製造受託量が増加し順調に推移しました。また、産業機械部品関連において新規開拓を推進してきたことで受注も増加し、業績は順調に推移しました。

防災・安全事業においては、補助金を活用してスプリンクラー設備導入を予定する病院施設等から受けた引き合いはあったものの、補助金採択率が低水準であったことから、翌期以降に持ち越されるものが増加し、業績は低調に推移しました。

これらの結果、当連結会計年度において売上高は5,641百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は207百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

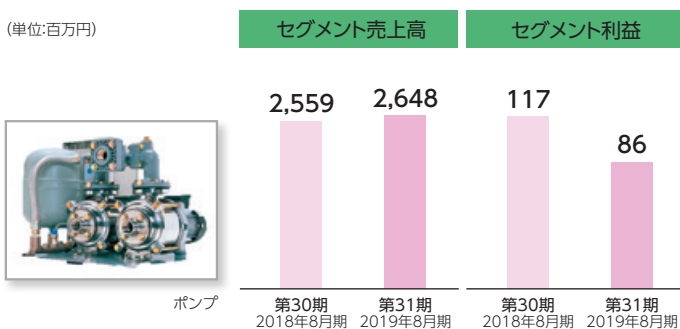
なお、経常利益は193百万円（前年同期比21.2%増）となり、その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は143百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

事業別の概況

Operating Results

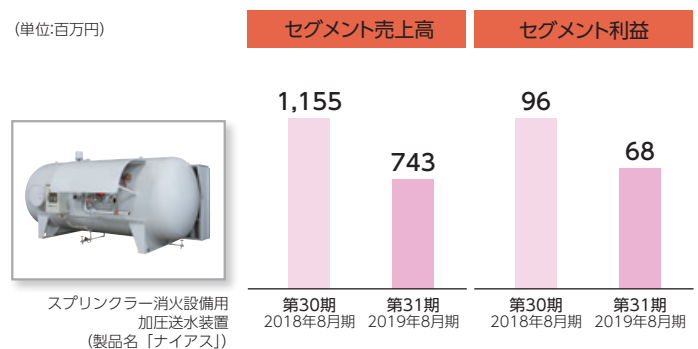
環境・エネルギー事業

(単位:百万円)



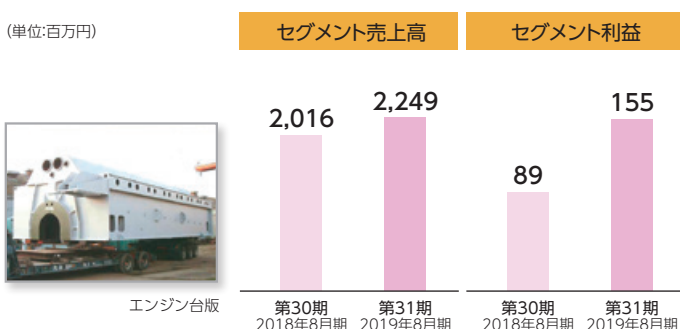
防災・安全事業

(単位:百万円)

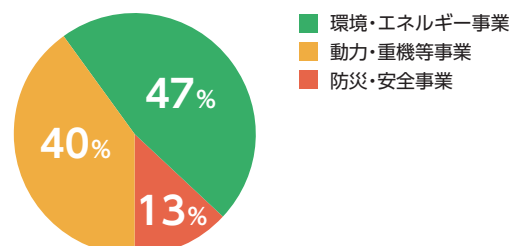


動力・重機等事業

(単位:百万円)



事業別売上比率



北陸営業所へ営業スペシャリストを配置、即効性のある営業展開を4月よりスタート！



北陸営業所メンバー

2019年4月、北陸地域での営業強化を目的としてポンプメーカー出身の営業スペシャリスト2名を採用し、北陸営業所へ配置いたしました。

今まで手薄であった北陸地域での営業体制が整ったことにより営業範囲が拡大し、同営業所では水処理機器の販売促進を実施してまいりました。北陸地域での営業促進が、第32期の当社売上増加に寄与することを強く期待しております。

上場後初のM&Aを実施！(株)ミモトがポエックグループに加わりました。



(株)ミモト

2019年5月24日、(株)ミモト（香川県坂出市）の全株式を取得し、同社は当社の完全子会社となりました。

新たにポエックグループへ加わった(株)ミモトは1980年設立、30年以上の実績を持ち、味元代表取締役社長を中心に従業員が一丸となっている結束力の高い

会社です。溶接技術に絶大の自信を持っており、主に製缶、配管、産業機器等の据付を行っております。

また、子会社(株)三和テスコと取引関係にあり、子会社同士でのシナジー効果を想定しております。なお、当社にとってはこれが上場後初めてのM&Aとなり、今後も当社グループにおいてシナジー効果を生み出すことができる企業のM&Aを継続して行っていく予定であります。

子会社の(株)三和テスコで「NCガス・プラズマ切断機」を、東洋精機産業(株)で「ロボット付複合加工設備」を導入！



NCガス・プラズマ切断機



ロボット付複合加工設備「INTEGREXi-100S」

当期において、子会社(株)三和テスコでは、NCガス・プラズマ切断機を導入いたしました。

従来使用していたガス切断機と比較して切断速度が飛躍的に早くなり、また外注先へ切断依頼していたステンレス鋼も自社で切断することが可能となったため、コストダウン及び生産性の向上に成功いたしました。

また、子会社東洋精機産業(株)では、ロボット付複合加工設備「INTEGREXi-100S」を導入いたしました。加工時間の長い製品であっても、無人での加工が可能となったため、飛躍的に生産性が向上いたしました。

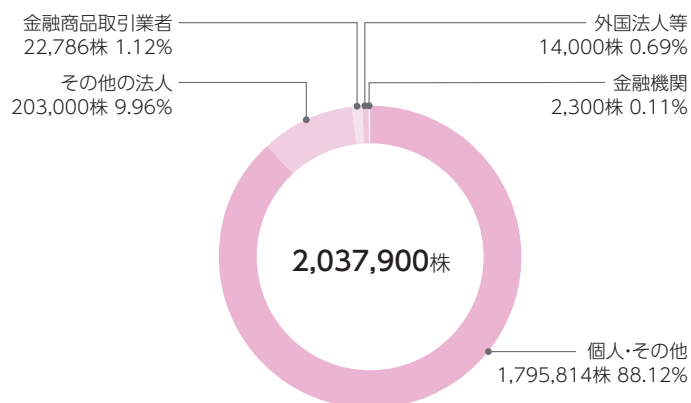
株式の状況

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式の総数	2,037,900株
株主数	1,723名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
来山 哲二	314千株	15.4%
采女 信二郎	174	8.6
東洋額装株式会社	115	5.6
ポエック従業員持株会	87	4.3
来山 美佐子	65	3.2
小林 正明	40	2.0
下田 和子	40	2.0
宮地 治夫	25	1.2
藤田 砂智	23	1.1
藤井 将雄	21	1.1

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年9月1日～翌年8月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年8月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年2月末日
定時株主総会	毎年11月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.puequ.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。)

会社の概要

商号	ポエック株式会社
本社所在地	広島県福山市南蔵王町二丁目1番12号
設立	1989年1月25日
資本金	622,785,265円
従業員数	74名
事業内容	1 ポンプ、送風機、空調機、工場設備機器の販売 2 機器類修理、保守点検、設計施工 3 熱交換器の販売 4 防災機器の販売

役員

代表取締役社長	来山 哲二
代表取締役副社長	采女 信二郎
専務取締役	寒川 貴宣
常務取締役	三谷 俊二
常務取締役	松村 俊宏
取締役	吉本 貞幸
取締役	村本 修
取締役(社外)	森 紀男
取締役(社外)	大植 伸
常勤監査役	本瓦 益久
監査役(社外)	小林 景
監査役(社外)	曾川 俊洋

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店で支払いいたします。



本社
広島県福山市南蔵王町二丁目1番12号
ホームページからも当社のIR情報をご覧いただけます。

URL: <https://www.puequ.co.jp/>

